

テーマ名

「組合事業の活性化について」

中小 運送事業 生 りを かけ事業の開 を す
1 6

□

-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-

6 □ □ □ □

1 □ □ 6 □ □ □ □

□ 9 □ □ □ □ 9 □

-
-

(要 旨)

中 の い 島根県邑智郡と、 する江津市桜江町の 、人口
 わ か2 00人 ら のところに「わ に する荷物は自 たちの 」とい
 概に燃 た運送 の事業 同組合 る この は降 、江川 と名
 けられる大 「江の川」 の を取り に流れ、時にはは れ い、かつ
 てはその 流に も も み込 れることもし し ったとい その
 大 にへ りつ に 開かれ、 の 民 ら っている 平野らし
 ものは 、中 に代 、 の い る
 ここも他の市町 に れ 、 と 化、 会との経済格 に い いる
 、各企業の事業環境も し その対 として、郡内の生活を るためと郡内を
 取 運送会 の経 化 れに る前にと 機 を ち、 集 って
 年3月「邑智トラック事業 同組合」 発 れた
 年 物流 する中、 との を り ら、組合員同士の 、
 研修会 るいは新し 認 を取得する に事業活 を行っている当事業 同
 組合員 の取組を とめてみたい

邑智郡・江津市桜江町の人口の推移 平成19年3月末(単位:人)

	平成19年度			平成1年度		
			合			合
邑南町	012		12 0	111	9	13 0
美郷町	2 9	3 19	9	2 1	3 2	10
川本町	1 92	2 1	0	1 9	2 21	199
桜江町	1 3	1 1	3 3	1 9	1 1	3 30
合	12 2 2	1 10	2 90	12 2	1 2	2 13

(資料:各町民課)

目 次

1. はじめに	2
2. 事業展開する邑智郡の概要と事業環境について	2
3. 事業 同組合設立の経緯	
4. 組合員の状況	
5. 共同受注・共同配車事業への取組	
(1) 野菜等の集約から市場搬入の事業	
(2) 肥料・飼料の引取事業の実施	
(3) 自主流通米運送事業の獲得	
(4) 新事業、定期配送事業の取組み	9
(5) その他の事業	1
① 燃料スタンド及び物流用品の取扱い事業	1
② 高速料金別納制度	2
(6) 官公需適格組合の認証と中小企業組合士の認定取得について	3
6. 共同事業に対する問題と課題	3
(1) 共同購買事業	3
(2) 共同受注・共同配車事業	
7. エコへの取組について	
8. 事務局の強化について	
9. おわりに	

- (資料) ・平成1 年度中小企業 ・島根県中小企業 中 会「研修資料」
 ・ 人中小企業 化 会「組合事業運 1」
 ・島根県運 事業 同組合「研 資料」
 ・インター ット A り ・邑智郡内各町民課 り人口の推移
 ・邑智郡内各町民課 り人口の推移 ・ 中の各 名 記載については了解済

1. はじめに

邑智トラック事業 同組合 お に ること に ったのは、末っ の
の年中組に通っていたころ る それ は 3 人の てに われ、 いて
事に 事すること 出来 いた し つ 会 帰していた 町 場に
時 務していた 、組合の 員様から め いかとのお り したと記 して
いる

当 、 たちは 、高 の 両 、 とも同 したの 、 こ
とから組合と組合員の 様には をおかけし 、配 して いた おか
本年 12 年目を 、 かった も高 2 年生に った の成長とともに 務
たこと 本当に 、 している 近 っと生活も 、組合のために
か に立ちたいと っていた 、「中小企業組 活 レ ート 集」のお ら
送られて た 長年 務 て いたことの を込めて、邑智トラック事業
同組合の事業活性化に取組 いる様 を とめてみたいと い した次 る
邑智トラック事業 同組合は組合員 名の小 組合 る 、組合員 と っ
て の物流システ 及び経済活 、それ れの組合員の 業員、 の生活を る
ため、 会 を目 している事業 同組合 る

2. 事業展開する邑智郡の概要と事業環境について

当事業 同組合は島根県の 真 中に位 し、邑南町、美郷町、川本町、江津市
桜町の 邑智郡 る 中 の 江川 名 江の川の り
の行 を おり他町 へ出かけるには を 、江の川を り、 の
をい つも ら けれ ら い
いたって を る 、邑南町は高速 のインター 近 島市内へは
時 行 こと 出来、 の 公 をはじめ 産物は 会を中 にインター ッ
ト も わっている 、川本町は 設 実し ー ストラ も
る県 も 名 「 邑 る と会 」 り、 の町として中 生から大人
に を入れ、 と共生し ら発展しているところ る カ 一の盛
美郷町 は 定公 の を 、 産に れた「 」へは 30
も れ 出かけられる 、邑智郡全 としては 会と す 近 共 して
いる る そして、桜江町は美 、 所 を設け、 別展 は



(邑智郡邑南町・川本町・美郷町・江津市桜江町付近)



(島根県邑智郡付近)

3. 組合設立の経緯

邑智トラック事業 同組合は 年 3 月 1 日 設立し本年 2 年を 経ること
 た 業 の 事業 あり、当時郡内運送業 12 の内、10 設立
 すること した
 設立当 時、県の 工 業 の 発展のもと「 は い ち に け」との、同 長 年の号
 への 入と高速 別納事業、燃料の共同購入への 取組を 始めとし、
 2 年には近代化資金の 投入に 伴い共同給油所の設 立を 行い、当組合員に 関する燃
 料の共同購入共同販売を 行い、安 全 安定 給に 努めること 、組合員に対し高速料金
 別納制度への 取組を推 し、高速料金の 減額 物流用品の経 費を推 すること
 と 出来た



(給油所設立当時 2 代目理事長と事務局：現理事長)



(給油中の車両)

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100

4. 組合員の状況

設立当 時 は 少 数 組合員各自、自らの 事業 から 事 業 上 必要 ありそれ ぞれの会
 運 行 も していた 中には事業 同組合の 必要性を 感じられ ない組合員もいた 、
 物流 は 行 っていない、小 規模 単位の事業 しか 行 っていない物
 も 増加し、 ストイック 型、 小 規模、 て、大口の 組合員 である J A、
 全農、経済 同組合 の合 併 も盛 に行われ、 前年 の に「 からの」とい

5. 共同受注・共同配車事業への取組

平成 年、郡内 力町 合 に い当事業 同組合は組合員 名の内、名に り
(業に り現 名)「事業 員会」を設立した

これに い邑智郡邑南町 内(邑智郡 町)に 事務所を開設し、
の事務員を 、組合を 口に のA 同組合の物資の運送を共同受注、共同配車
る 制 スタート た

前は、物流単 も ラ ラ の組合員 の単 荷物を運搬していた 、
A 同組合の合 に り郡内の 送ルート、送単 の の要 り理事長
の 、これに対 する事と った 組合員の中には 前 り単 の高い荷物
対に い荷物 出来、しい対 を られた 、度と を り す事に
って する事 出来た

受注 約も各自 約する、 るいは口約 事を受ける 安定 状況 っ
た 、共同受注として、邑智トラック事業 同組合とA 同組合 約を びA 同
組合の組合員及びその他 の へ共同配車する事と り、事業 同組合の安定し
た経 の を するとともに、各組合員 行 事務 理も組合 行
事 組合員への られた

(1) 野菜等の集約から市場搬入の事業

A 同組合 は 内の農産物を り 生産出荷して 、各 所 とに 別の



(野菜、花卉を運ぶ愛菜の郷号)



(夏場は農産物を満載して運送する)

農の を込めて生産 れた野菜、花
 卉 る 郡内は降 も 、 に
 い場所も り、大 降れ 流と る江の川を
 ってA 同組合の各 所を集荷に ら けれ
 ら い その 、近 の大 模 市場へ運送す
 るには、時 の制 も り、新 野菜を
 り 運送するとい 、 する課題を
 し らの の け い事業 る
 るからこそ、夏場と 場 は積荷の に
 当 い るもののか りの売 と っている
 車両も大 化、 化、 れ「愛菜の郷」の野菜
 として は 島 に出荷 れている

(2) 肥料・飼料の引取事業の実施

同じ平成11年月、肥料と飼料の生産工場への引取送を当事業同組合受注することとした

長年、当の肥料引取は車送行われていた

年3月、現のJ江「」に車していたものを、小車両引取配送していたる車送の止に工場への引取にわって行った、他業の引取とって当組合員は全わるることになったのる



(フレコンにて飼料の引取：配送センターに帰って来たところ)



(肥料の引取から帰って積荷を降ろしている)

(3) 自主流通米運送事業の獲得



(コシヒカリの販売開始式出席の様相)

ついで平成11年 月 日「自主流通米」の運送を受注 する運びとなった

当事業 同組合 は、肥料、飼料の工場引取の受注 出来る になったこと 車両の大 化 された に い、肥料の引取時に、当 から生産 される農産物を持って行 、帰り荷に肥料を ち帰ると 発から、当 生産の自主流通米の 送についてもA 同組合の に り 受注をすること 出来たの る

に 行って行 帰りの荷物を運ぶ事 に り当組合員にとって 送 られ、経 の安定化につ った

米の 期に運送 集中する 、中 はもと り、 は 島、 は新 、運送 て ける事業 る 当事業 同組合及び受注 からの注意事を り し 、運転 にも荷物にも事 の い 、積込から荷降ろし の



(左：島根県内産のJA米シール貼付け作業)



(自主流通米の積込作業：

フォークリフトの運転にも注意をはらっている)

(4) 新事業、定期配送事業の取組み

平成12年 月、A 同組合の各 所 扱っていた農業用資 の 当 止 れ、



(左・右：配送センター出発式の模様
：写真掲載了解済み)



(配送センターの積み込み作業)

A 同組合の定期配送を全て えることに
同組合のトラックと運転、それに
新事業成 への と意を めたの る
内 は 1、 1、川本・桜江 1、邑智 1、美・
大 1 する に り農業用物流 する中、新たに経 らかれ、

当 は当組合員 2 トラック
と、配送センターの 理として
当事業 同組合の 業員を 2 名 い入れ、
った「配送センター出発式」 は当事業
理の 業員 し 事 を い合い、
内 は 1、 1、川本・桜江 1、邑智 1、美・
大 1 する に り農業用物流 する中、新たに経 らかれ、



(邑智トラックの定期配送車)



(出発前のチェックを入念に)

(5) その他の事業

① 燃料スタンド及び物流用品の取扱い事業

2年に設 した共同給油所は20年を

としている 施設は老朽化



(老朽化した洗車機及び給油機たち)

み、 年来の燃料 格の大 高、環境、安全 制強化 問題を受け しい状況に なる 油 格は 前、油 込み 度 ったもの 年前から 9 をはるかに 現 も高止 りの 高 を けており、当組合員に し も安 給するためにも当事業 同組合の は全 られ、 とも は 大する かり する 大 しい状況 は する、当事業 同組合

及び組合員の事業経 において りとも経 になる、 活用し安 安定 給に めている た、タイヤ等の自 用品 物流用品 も、 り安 品の 給に配 し しているところ する の しい経 環境 は老朽化 しているとはい、燃料スタンドを していることは当組合員にとって大 目と っている

② 高速料金別納制度

高速料金の別納制度 入に なる高速料金の 引料は、燃料 格の高 運 に転 れ い状 を とかしの と っている

受	平成 19 年 3 月末	平成 1 年 3 月末	
		2	109

当事業 同組合の組合員は運送コストを りとも するため、 高速 を 用し い 運転、積荷にもリスクの る を っていた、運送時 の に なる リット する、積荷の、運転 の、 時 の のため、 るいは荷主の要 に り、時として高速 の 用も 要 状況 こ っており、高速料金の る大 を いる

平成 1 年 10 月 り始 った コー レートカードの推 も定 し、カード 理に 配 し けれ ら い

(6) 官公需適格組合の認証と中小企業組合士の認定取得について

当事業 同組合は中 の事業 次産業の物品を主として運ぶ 送
る、現 当 も高 化に り生産活 は している 新たに 事業
に入会する して 市 へと物流を めて行ってはみても、現 の2年 の燃料
高、高 高速料金を っているのは、現状の運 入 は ころか車を ら
る け経 し る様 状、 員の生活 けは としても りたいと
しているところ る
行 を 念していたところ、島根県中小企業 中 会の もり、 へ活
を めるため平成1年「官公需適格組合」の認 取得をした 官公需の認証取得に
当っては、中 会の 当 のに を運 、度も ら、
っと取得出来た 大 お に り、組合員 同、 して るところ
る
これに り、企業 け、公共事業に対しても自 を って 業する事、
組合員の事業の に る 活 出来る様 になった 速郡内 場へ入
を 出したところ る
た 事 は る 年12月、組合 定 に し中小企業 中 会の 様に
は講習会を して 大 していた いた おか 中小企業組合士
として認定して こと 出来、大 り っている 習したことを れい
、様 の状況に問題意 を って 務する に け、 の 様
に を ら、当事業 同組合の お び組合員の事業の安定のため
したいと っている

6. 共同事業に対する問題と課題

(1) 共同購買事業

燃料の 同購入においては として 入金 の高止 り いている
化に る 2の、 ス 制 の環境の も しい対 られている、
イ ール燃料の 用 その他の燃料代 品も 市 ら はのこと、邑智郡
内 は 及 れておら、当事業 同組合及び組合員は しい運
れている し も安い燃料の を模 し ら現 の状況を り ていか
けれ ら い 自 車用品、物流用品の 入においても、 に経 の につ

(2) 共同受注・共同配車事業

当事業同組合は、組合員の を し けれ ら いのと同時に 企業
会を物流の 、 の経済活 、 の生活を る 要 を っ
て いると している 、 の に企業の合理化、経 の 、環境対 、 化
問題 た、安全運転、車 理等に 経 大する 問題 積する中 、当
事業 同組合及び組合員の事業経 は び み、経 環境の 強い 開 れる
も燃料の高 を運 に転 出来 い状 つ と られる に、 会と
の格 る か の小 企業 の 対 に われ、事業運
に を たす事の い 、当事業 同組合 口と っ て組合員の事業活 を
し、積 事業 大 出来る してい か けれ ら い
、事業経 しい中 は配車の も組合員の 模 員、車 から単
に受注 、配車の 配をして いのかとか、いわ る「 から自 のところ っ
ていた」と った意 出て る場合も る ろ 新しい事業活 を展開するにも
組合員 を つにして取組 けれ 、当事業 同組合の事業はもと り組合員の
事業の成 もお つか いと られる の組合 年 も っていることから、
目 の状況にとらわれ、「 と 務の平等」の から適 対 してい こと
大事 る

7. エコへの取組について

化は、 2 の 出 したこと 大 と っている
われている 油燃料 を大 に し けれ ら い当事業 同組合 も、事
業活 と 環境 全を両立し、自 か も れい 邑智郡及び江津市桜
江町に事業展開し、 全 各 も物資を搬入搬出する物流企業として、 る り
環境 防止に め と をしている

平成1年 月に 定 れた「 定 目 成 」において「環境に配
した自 車 用の 」施 の つとして位 けられている 、平成1年度に
はエコドライ 及 会(、経済産業 、 通 、環境 から 成)に

8. 事務局の強化について



(災害防止講習会出席の様様)



(安全運転講習会出席の様様)

の は当 においては じら
れ、 況の長期化、 の 化、 制 等に
業 の しい 化の中 組合員の経 安
定のため問題の 、 開 の 、 と高度
化 められており、事務局の は にわたり、その の められている

新事業の 大、 においても長期、 期の資金の 入 し けれ らい た 近
れている新 を するための「中小企業
の新た 事業活 の に する 」 、
この時期、事業 同組合の事業運 において
要か、 を れているのかを 、実 、行
に移し当事業 同組合及び組合員の事業活 に
立つ に め けれ らい
そのためにも、近年 れている 定
の 化 対運 に する 、高速料



(タイヤ再生工場の研修会)



(肥料工場の研修会)

9. おわりに

邑智トラック事業 同組合は 年前の 、各 から 出席 いて、創立 20 周年記念式典を開 すること 出来た

組合設立当 の を と 組合事業を けて来られたのは、各 の



(盛大に行われた創立20周年記念式典)

大の事業 する共同受注、共同配送、共同購買 を し、問題 こ
 れ、度も をし ら 市 の企業には い「み り」とい
 の 性を活かした、「安 安全 事 り」を目 し組合員 と っ て し
 合い っているから る

た他町 に出かけて運送する場合 も、お い 邑智郡の物流の代 るいは、
 企業の代理 るとい 自 を っ て 事する けている

物流のこと ら、「邑智トラック事業 同組合 けれ 」と われる に り
 たいと 意している